

授 業 科 目 名	生活科教育法	教 員 名	坂倉 真衣	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		保育士	
					こども音楽療育士	
科 目 番 号	SID202	配当年次	2年前期	卒 業 要 件	小幼コース	必修
単 位 数	2単位				幼保コース	選択
科 目 目 的	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
一 般 目 標	<p>生活科の指導理論をもとに、その目標と内容、具体的な教材、指導方法と評価方法に関する知識や指導に必要な実践的な技術を習得する。</p> <p>①生活科の目標、内容及び指導方法、評価方法を理解する。</p> <p>②指導計画の作成の配慮事項を踏まえ、学習指導案を作成する。</p> <p>③学習指導案に基づいた模擬授業を通して、具体的な指導技術や評価方法を身につける。</p> <p>(1)生活科の目標及び内容 学習指導要領に示された生活科の目標や内容を理解する。</p> <p>(2)生活科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)生活科の目標及び内容</p> <p>1)学習指導要領における生活科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>2)個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</p> <p>3)生活科の学習評価の考え方を理解している。</p> <p>4)生活科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</p> <p>(2)生活科の指導方法と授業設計</p> <p>1)子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</p> <p>2)生活科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</p> <p>3)学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</p> <p>4)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている。」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	<p>全体目標： 生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された生活科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>生活科の目標と内容などに基づき、指導計画案の作成により指導計画作成の基礎・基本を理解する。さらに、実践事例を参考に授業展開のあり方、授業改善を図るための評価のあり方についても学ばせる。</p> <p>特に、1学年は幼小連携の視点、2学年は上級学年の教科との連結の視点も含め、発達段階に応じた指導のあり方も学んでいく。さらに、生活科の指導事例の分析を踏まえて、具体的に教材研究を行い、学習指導案の作成や模擬授業の実践等を通して、生活科における学習指導の基本原則を身に付けるとともに実践的な指導力を培う。授業形態は、演習とする。</p>					
授 業 計 画	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>生活科教育法の概要と授業計画について知る。（目標(1)-1), 2), 3))</p>					

	<p>第2回：生活科の構想1 「生活科の新設の趣旨やねらい、教科目標の構成」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科の新設の趣旨やねらい、教科目標の構成について調べ、まとめる。(目標(1)-1), 2), 3), 4)) <p>第3回：生活科の構想2 「生活科の内容構成の考え方、内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領解説生活編をもとに、生活科の内容構成の考え方や内容についてまとめる。(目標(1)-2), 4)) <p>第4回：指導計画の作成1 「指導計画作成上の配慮事項、内容の取扱い上の配慮事項」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領解説生活編をもとに、指導計画作成上の配慮事項、内容の取扱い上の配慮事項についてまとめる。(目標(1)-2), (2)-1), 2)) <p>第5回：指導計画の作成2 「生活科における指導計画と学習指導の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領解説生活編をもとに、指導計画作成上の配慮事項、生活科における指導計画と学習指導の進め方についてまとめる。(目標(1)-2), (2)-1), 2)) <p>第6回：指導案作成1 「指導事例の分析、教材研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示された指導事例を分析し、教材研究の在り方を学ぶ。また、指導事例から生活科における情報機器活用方法を学ぶ。(目標(2)-2), 3)) <p>第7回：指導案作成2 指導過程の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の教材分析をもとに、指導過程の作成の仕方を学ぶ。(目標(2)-3)) <p>第8回：模擬授業 グループごとの模擬授業(グループ代表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時で作成した指導過程をもとに、グループごとにグループの代表が模擬授業を行う。(目標(2)-4)) <p>第9回：改善指導案検討 授業分析をもとにした指導案改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 模擬授業での協議をもとに、指導過程を中心に検討し、改善案を作成する。(目標(2)-3), 4)) <p>第10回：指導案作成の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導案作成の要点について具体事例をとおしてまとめる。(目標(2)-3)) <p>第11回：指導案作成1 「指導過程の作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体事例の単元の指導計画をもとに1単位時間の指導過程を作成する。(目標(2)-3)) <p>第12回：指導案作成2 「作成した指導過程の検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に作成した1単位時間の指導過程について検討し、改善する。(目標(2)-3)) <p>第13回：模擬授業1 グループごとの模擬授業(グループ前半)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループでグループ前半の学生が指導過程をもとに模擬授業を実施し、研究協議する。(目標(2)-3)) <p>第14回：模擬授業2 グループごとの模擬授業(グループ後半)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループでグループ後半の学生が指導過程をもとに模擬授業を実施し、研究協議する。(目標(2)-3)) <p>第15回：授業研究と生活科教育法のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループにおける模擬授業の課題をもとに協議し、生活科の授業の在り方をまとめる。(目標(1)-4), (2)-3)) <p>期末試験</p>
<p>学生に対する評価</p>	<p>指導案の作成や模擬授業の実施40%、模擬授業の検討レポートの内容30%、期末試験の成績30%で評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> コメントを記載して返却する。 授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 答案例を配布する。
<p>時間外の学習について</p>	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習：毎回講義後に、次回の講義内容を伝え、予習課題を与えるので、しっかり解いて不明な点を明確にしておくこと。</p>

	事後学習：講義内容に関するレポートやグループでの課題を課すので、次回までにまとめておくこと。
テキスト	文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』 『わくわくせいかつ 上・下』 啓林館
参考書・ 参考資料等	『幼稚園教育要領（平成29年告示）』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』 『保育所保育指針（平成29年告示）』 『小学校新学習指導要領ポイント総整理』（東洋館出版社編集部編） 上記以外は、授業の展開に合わせて紹介する。
担当者からの メッセージ	小学校生活科における具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることを目標とする「生活科教育法」では、生活において行われる様々な活動（自然、社会、物、人々など様々な身近な事物に関わる活動）についてみなさん自身が十分に経験し、基礎的な知識や考え方を獲得していることが必要になります。よって、1年次に行われる「生活」の授業を履修しておくことが望ましいです。生活は合科的な科目なので、「理科」「社会」なども受講しておけば、中学年以降を意識した授業を構成する上で役に立ちます。履修時までにはしっかりと基礎的な知識を身につけて、授業に臨んでください。
オフィスアワー	毎週水曜日 9:00～12:00